

「南千住駅周辺地区バリアフリー基本構想（素案）」 に対するパブリックコメントの結果について

実施期間	平成24年12月11日（火）～平成24年12月25日（火）	
実施場所	区役所6階都市計画課・2階情報提供コーナー・荒川区ホームページ	
意見総数	意見提出者：3名	意見総数：4件
提出された意見の分類	重点整備地区についての意見	1件
	心のバリアフリーについての意見	3件

対応区分	意見総数：4件
：意見を反映し、素案を修正したもの	1件
：意見の趣旨や考え方が既に素案に盛り込まれているもの	3件
：意見は反映させないが、今後検討を行っていくもの	0件

意見の概要と意見に対する区の考え方

	意見の概要	意見に対する区の考え方	対応区分
1	重点整備地区について 荒川区においては、4か所の重点地区をされています。しかし、重点地区外つまり西尾久地区が取り残されているような感を受けます。重点地区の駅周辺地域と言う意味では物足りない地域ですが、高齢者や古い建築物の多い地区ですので、せめて西尾久地域を「熊野前駅周辺地区(西尾久地域も含む)」と文言化すべきではないでしょうか。地区は動かしようがないので、一方的に重点地区を行政が決めてしまうと将来的にも何か起きると理解や協力が得られなくなるのではと懸念します。	重点整備地区については、平成21年度の荒川区バリアフリー基本構想(以下「全体構想」という。)の検討の中で、多様な関係者で構成する協議会に諮りながら設定しています。 また、重点整備地区以外の地区についても、「全体構想」P44に記載の通り、「整備の緊急性や他事業等の事業機会を捉え、必要に応じて個別の事業計画を作成するなど、各事業者や施設管理者等が連携して総合的かつ計画的にバリアフリー化を全区的に推進していく」としています。	
2	心のバリアフリーについて 幸福実感都市あらかわを基本理念に、ソフト面・ハード面を充分考慮した内容であると感じました。アンケート調査結果や、近隣地区との連携も考慮に入れて策定され、バリアフリーについても十分に検討されている様なので、区民の一人として心のバリアフリーを心がけ、普及に努めたいと思います。	バリアフリーを推進していくためには、利用者相互に思いやりの心を持って助け合うためのソフト面での施策展開が重要と考えています。そのため、区民主体の取り組みについて、住民部会を通じて話し合った内容をP76～77に、ソフト施策の展開をP78～81に記載し、今後の展開について区の考えを示しています。 区としても今後、区民の主体的な取組を通じて、バリアフリーに対する“気づき”の機会を増やすことで、心のバリアフリーの普及、啓発につなげていくこととしています。	
3	心のバリアフリーについて 車いすトイレは十分とはいえないが、確実に数は増えている。 普段は私の行動範囲では不便を感じないが、駅やドライブイン等人的の多く集まる所ではなかなかトイレが空かなくて困ったことがある。原因の一つは非常識な人の長時間の使用であると思われる。 そこで、トイレの中に「外で待っている人がいます」等のサインがあると、使用者も早く用を済ませると思っています。	多目的トイレの利用マナーについては、これまでの区民参加型ワークショップ等でも特に区民の問題意識が高いテーマとなっています。また、このような区民の問題意識が高いテーマに対して、「区民自らができること(自助)」、「自分だけでは対応が困難なものについて周囲(地域)が協力できること(共助)」を検討した結果をP76～77に記載しています。 今後は、区民自身の取組を拡大していくために、家庭や学校などにおいて周囲の人への思いやりの意識を高めるための教育を継続して実施するとともに、区の施策として区民自身の取組をサポートしていくこととしています。また、区だけでなく、特定事業計画に位置づけた取組を中心として、行政、事業者、地域が一体となって区民自身の取組を支援していくこととしています。	
4	心のバリアフリーについて 今回、基本理念で基本方針の中の1番に「心のバリアフリーの推進」を取りあげていただき、ハード面よりソフト面を重要視していただいていることです。のりくらりかわそうと思えばかわせる点で一番大変な課題を方針のトップに打ち出しているのが評価できると思います。 心のバリアフリーについては、行政だけに任せるのではなく、障がい当事者や団体も率先して啓発にかかわるような仕組みをつくることも必要と考えます。	心のバリアフリーの推進については、本年度の住民部会でも検討が行われ、障がい当事者等の参加による啓発活動についても話し合いが行われております。 ご意見を踏まえ、住民部会でのマナー向上のための自主的な活動内容について、P78に「(2)区民による取組の推進」として記載するとともに、活動の実現に向けた支援を進めていくこととします。	